

今号では、社会教育指導班から「学校運営協議会と地学協働活動に係るQ&A」、義務教育指導班から「令和6年度新しいかたちの学びの授業力向上推進事業 映像版実践資料」、高校学校教育指導班から「令和6年度に管内で開催した生徒指導関係の会議等」について紹介します。

社会教育指導班

学校運営協議会と地学協働活動に係るQ&A

社会教育巡回訪問(計画訪問)では、各市町村立小中学校1~2校、道立学校4校に伺いました。なお、訪問した様子については、石狩教育局のHPにて掲載していますのでご覧ください。
今号では、学校訪問での話題をもとに、Q&A方式でまとめます。



Q1	学校運営協議会において、委員からの求めが多く、困っています。学校(教職員)の負担感や困り感を委員に伝えてもよいのでしょうか。	A1	委員に、学校(児童生徒)の様子を見てもらい、学校(教職員)の現状について説明し、理解いただくことが必要です。例えば、これまで学校が担ってきた地域行事を持続可能にするため、どのようにしたらよいかについて、熟議をとおして学校と地域がともに考えていくことが大切です。 【指導3班通信 第3号(6月)・第10号(1月)参照】
Q2	高等学校の学校運営協議会は、地域型とテーマ型があると聞きました。テーマ型の具体について教えてください。	A2	スクール・ミッションや学校教育目標、学校課題等に応じ、例えば「探究活動の充実」、「防災」、「学校の魅力化」などがテーマとして考えられます。また、地域をベースに委員を選出する一方、テーマをもとに委員を選出するなど、学校の状況により、複合的に考えることも1つのアイデアです。 【参考】 リーフレット「都市部の高校におけるCS導入」(北海道教育庁学校教育局高校教育課)
Q3	学校運営協議会において、委員から学校への意見やアイデアがあまり出されません。活発な熟議により、学校運営強化につなげたいのですが、どうしたらよいのでしょうか。	A3	委員や地域住民が、学校(児童生徒)を見る機会をつくることにより、子どもたちの学びの充実に向けた、具体的な意見やアイデアが出される熟議につながります。 【指導3班通信 第10号(1月)参照】
Q4	学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進とはどのようなことですか。	A4	学校運営の強化に向け、学校運営協議会で協議した内容等を踏まえ、地域学校協働活動推進員等(コーディネーター等)が地域学校協働活動につなげ、地域住民等の協力により、学校課題の解決に向けた多様な活動を行うことです。 【指導3班通信 第9号(12月)参照】



学校運営協議会と地学協働活動による学校運営強化の『3つのキーワード』

学校(児童生徒)を見てもらう工夫

子ども像や学校課題(地域課題)の積極的な共有

熟議の活性化

石狩管内教育推進の重点3「地域と歩む持続可能な教育体制の実現」を目指し、熟議の活性化と地域全体で子どもの学びや成長を支える地学協働活動を充実させ、学校運営の強化につなげましょう。

(社会教育指導班社会教育主事 只野浩太)

義務教育指導班

令和6年度新しいかたちの学びの授業力向上推進事業 映像版実践資料

本資料は、新しいかたちの学びの授業力向上推進事業における1人1台端末を効果的に活用した授業実践をまとめたものです。石狩管内では、千歳市、恵庭市、石狩市の実践を掲載していますので、日常の授業づくりや教材研究、校内研修等において積極にご活用ください。

小学校 第3学年 図形(Ⅲ)



千歳市推進グループ作成

「円と球」

【映像の内容】

- ① 数学的な見方・考え方を働かせるための学習過程の工夫
- ② 協働的な学びの充実に向けた端末の活用(ICTソフトの効果的な活用)

<https://youtu.be/4eKrwAL3Sw8>



小学校 第1学年 話すこと・聞くこと(Ⅳ)



恵庭市推進グループ作成

「どんなおはなしができるかな」

【映像の内容】

- ① 児童が話し合っ、「おはなし」をつくるための効果的な端末の活用
- ② グループ間で、「おはなし」を共有しながら、話したり聞いたりするための端末の活用
- ③ 「話すこと・聞くこと」領域における端末の活用のポイント

https://youtu.be/gc81ftn_JQw



小学校 第4学年 数と計算(Ⅳ)



石狩市推進グループ作成

「計算のやくそくを調べよう～計算のきまり～」

【映像の内容】

- ① 単元に関わる学習指導要領の内容
- ② 本時までの学習内容
- ③ 授業実践の様子
- ④ 児童の声
- ⑤ 授業者の声、「成果と課題」

<https://youtu.be/wGAikjNZq8Y>



【北海道教育庁学校教育局学力向上推進課学力向上ポータル】
校内研修や教材研究に活用できる資料等はこちらから



本資料に掲載されている千歳市、恵庭市、石狩市の実践は、児童生徒がそれぞれのよさを生かしながら他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり協力し合ったりできるようにする活動の工夫が随所に見られます。本資料を参考に、ICT活用により対話による価値交換を実現し、全ての子どもが活躍する授業改革を進めましょう。(義務教育指導班指導主事 仲川太郎)

高等学校教育指導班

来年度もぜひご参加ください！

石狩管内生徒指導研究協議会(令和6年9月26日)

管内各学校の教諭等48名が参加し、教育局・北海道警察による説明、大阪公立大学山野則子教授によるスクリーニング等についての講話、参加者によるグループ協議などを通して、生徒指導の諸課題の「早期発見・早期解決」に向けた組織的な対応について理解を深めました。

どさんこ☆子ども地区会議(令和6年10月12日)

管内の小、中、高等学校18校の児童生徒54名が参加し、札幌南高校と札幌工業高校の生徒の皆さんの運営により「いじめのない学校にするために、自分たちで取り組めることは何か」をグループに分かれて話し合いました。

【まとめ】



子どもたちをネットトラブルから守るための保護者向け学習会(令和7年1月9日)

管内の各学校に通う児童生徒の保護者等36名の参加があり、子どものインターネット利用の現状について理解を深めるとともに、子どもが段階的にインターネットに触れるための家庭でのルールづくりの重要性等について話し合いました。

【まとめ】



🎉 新年度が始まってからクラス替え等に伴い、新しい環境になじめず、悩みを抱える生徒が少なくありません。年度替わりの引継ぎ等、きめ細かな情報共有をお願いします。

今年度卒業する生徒の皆さんの前途をお祝いするとともに、入学から卒業に至るまで尽力された教職員の皆さまに、感謝と敬意を表します。(高等学校教育指導班主査 鈴木 肇)